

アル・アクサ洪水第741日目：ガザ地区で飢饉の危険が続く中、ラファ検問所が600台のトラック向けに再開へ

Palestine Chronicle、2025年10月14日、脇浜義明訳、田中一弘補訳



ガザ地区の住民は、広範囲にわたる破壊の中、慎重に日常生活に戻り始めている。(Photo: via QNN)

主要事項

*昨日、トランプ米大統領は、ガザ合意の第二段階が開始したと発表した。彼はハマスと会談したと言って、階段には複数の米政府高官も入ったと述べた。

*赤十字社の車両がガザ市でイスラエル人人質の遺体を収容した。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のイスラエル攻撃の犠牲者は、死者67,938人、負傷者169,170人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月15日 11:40 pm

*米国メディア：トランプ大統領は、米国はハマスに武装解除を求めていると述べ、ハマスはそれに同意したと言い、「もし武器を放棄しないなら我々がそうさせる」と付言した。大統領は、殺害した人質の遺体を捜索しており、遺体の一部はトンネル内で見つかったと言った。ハマスはすでに遺体発掘の掘削作業を始めており、遺体の骨は長期間土や瓦礫の中に埋もれている、と言った。さらに彼は、「米軍がカザに介入する理由はない」とも言った。

*イスラエル国防省：カッツ国防大臣は、イスラエルは、米国主導の国際部隊と組んで、ガザのトンネルを破壊すると言った。彼は、ハマスが合意履行をしなかった場合、米国と連携して再び戦闘を始めると述べた。

*チャンネル15：匿名で治安筋が語ったところによると、戦争中アル・カッサム旅団はイスラエル軍を出し抜いていた。軍は人質に関する情報収集のために、通信チップをばら蒔いたが、抵抗勢力はそれを集めて、起動させ、人質引き渡しの前に、人質家族との通話に利用したという。

10月15日 11:38 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ保健省によれば、イスラエルから返還されたパレスチナ人囚人90人の遺体には拷問の跡、手足切断、処刑の痕跡が見られ、法医学的資源が不足しているので、医師たちは身元確認に苦慮している。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、アル・カッサム旅団が人質2人の遺体 — イスラエル軍の空爆で死亡した — を、ガザ市で赤十字に渡したと報じた。

*アル・ジャジーラ：ガザのパレスチナ治安部隊幹部は、停戦後、イスラエルがスパイや協力者を使って意図的にガザに暴力と混乱を引き起こそうとしているのに対応し、治安部隊が安定と秩序を回復し維持する作戦を開始した。彼の説明によると、戦争中イスラエル軍とモサドはガザ内のパレスチナ人犯罪組織に資金と武器を供与して活動させていたが、停戦後は軍が表に出ないで彼らに破壊工作をやらせている。民間人を危険にさらす騒乱を防ぐために、治安部隊が責任ある行動をとっていると、彼は語った。

*CNN：トランプ大統領は、ハマスが停戦合意に違反した場合、「私の一言で」イスラエルが戦争開始できる、と言った。ハマスが合意条件を遵守しない場合、ネタニヤフ首相に戦争再開を認可することを検討すると述べた。彼は人質解放は極めて重要だったと述べ、現在ハマスは「暴力的組織を排除している」と言って、ハマスが罪のないパレスチナ人を処刑したという報告があり、目下調査していると言った。「ギャング団が存在しているかもしれない」とも言った。彼はまた、自分がイスラエル政府と軍を抑制したと言って、「イスラエルにハマスを壊滅させる能力があったなら、とっくの昔そうしているはずだ」と述べた。

10月15日 9:24 pm

*アル・ジャジーラ：抵抗勢力の治安部隊「ラダア」は、ガザ回廊全域で包括的な治安作戦を続けると発表した。その声明によると、イスラエル占領軍の協力者と彼らを庇う者を標的にしている。声明は「行動を改め、入手可能な情報を提供する最後の機会は開かれている。すべての裏切者とイスラエル協力者に対する断固とした正義の拳から逃れることはできない」とある。

*MAJD ウェブサイト¹：抵抗勢力の治安担当幹部はMAJD セキュリティ・ウェブサイトで、この数時間から数日間で、何人かのイスラエル協力者が自首してきたと述べた。自首者の保護を確実にする手続きを行った後で、「まだしなければならぬ手続きがあるが、彼らの身柄を保護し、再生させなければならない。イスラエル協力者が悔い改めてパレスチナ民族のもとへ帰る道は開いている」と言った。

*アル・カッサム旅団：アル・アクサ洪水捕虜交換合意の一環として、今夕2人の人質に遺体を引き渡す。

*アル・ジャジーラ：アル・アクサ殉教者病院の広報担当のハリル・アッダクラン医師は、ガザの各市や各町には多数の犠牲者が瓦礫に下敷きになっていると言った。彼は、遺体や骨を収容するための機材と機械、友好国からの人的支援を求めたが、「今のところ、医療支援も機器もガザの病院に届いていない」と言った。

10月15日 8:21 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日パレスチナ抵抗勢力の指導部筋は、渡した遺体為人質のそれと一致しないとイスラエルが主張したが、それは2024年5月のジャバリヤの作戦でアル・カッサム旅団が捕虜として捕らえたイスラエル兵のものであると発表した。

*ユニセフ：ユニセフの報道官はCNNに対して、ガザの最大の問題は国境通路の閉鎖であると述べ、「ガザの入り口の外には大量の援助物資が待っており、早急なクロッシング再開が必要だ」と言った。彼女はさらに、「援助は交渉材料として利用され、妨害や制限をされてきた。国連は無視されてきた。このような状況は早く終わらせるべきだ」と強く言った。

*カン：昨日返還された遺体は、トンネル破壊作戦でイスラエル軍に協力したパレスチナ人のものだったと、軍発表した。

訳注1：マジド (MAJD)はハマスの治安機関で、特にイスラエル工作員容疑者の捜索などを行う。

10月15日 8:07 pm

*パレスチナ・クロニクル：スポーツ仲裁裁判所（CAS）は、イスラエル体操連盟（IGF）の上訴を棄却し、日曜日にインドネシアで開催される世界体操選手権大会へのイスラエル選手の参加の出場禁止を決めたインドネシア決定を支持した。

10月15日 7:57 pm

*パレスチナ・クロニクル：人権弁護士らは、ガザでパレスチナ人ジャーナリストのサレハ・アルジャファラウィが殺害された事件の捜査を求める訴えを、高裁刑事裁判所と複数の国連調査機関に起こした。

10月15日 7:50 pm

*パレスチナ・クロニクル：トランプ米大統領がガザ停戦合意に第二段階が始まったと宣言した一方で、イスラエルは交渉開始前にもう合意違反を繰り返していた。イスラエルの攻撃で民間人が犠牲になり続けているし、米国の富豪たちは、将来のガザを租税回避地やカジノの観光都市と見ているし、アラブ諸国とイスラエルが国交正常化してパレスチナ問題なんか消えてなくなった大イスラエルと中東「平和」が語られている。[ロバート・インラケシュの小論](#)を読みたい。

*アル・ジャジーラ：米国高官はアル・ジャジーラに対し、イスラエルに民軍調整センターを設立する作業が進んでおり、数日以内に稼働するだろうと言った。これは、約200人の米軍兵がイスラエルに来て、停戦の実情とどちらの側の違反行為をも監視するセンターとなる。協力諸国に加え、国際機関、NGO、民間部門の代表もセンター活動に加わり、ガザ回廊へ監視員を派遣される。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は、捕虜交換合意で釈放されたラシド・オマルの、トゥルカレム市南部のファルン村にある自宅を襲撃した。

*国連：国連人道問題担当の事務次長はイスラエルに対し、毎週数千台の援助トラックのガザ入域を許可するように要請した。

*アル・カッサム旅団：旅団はガザ戦争中に旅団が行った二つの軍事作戦の様態を発表した。一つは、2024年9月18日、ラファ地区でイスラエル軍の「ハマー」車両数台を地雷で爆破して多数の死傷者を出し、その後、アル・ジェネイナ地区のデイル・ヤシン学校付近で負傷兵を狙撃したこと。もう一つは、2024年7月7日、ラファのアンナフダ地区の爆弾を仕掛けたトンネルに12人のイスラエル兵と協力者5人を誘いこんで、起爆し、全員を死傷させたこと。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、ハーン・ユーニス頭部でイスラエル軍によってパレスチナ人1人が殺害された。

*カン：イスラエルの空爆で死亡したイスラエル兵捕虜5人の遺体を、イスラエル軍が受け取る準備をしている。

*ハアレツ：ガザとエジプトの間のラファ・クロッシングが数日の間に再開する見込み。

10月15日 6:59 pm

*パレスチナ・クロニクル：釈放されたパレスチナ人囚人たちは、音響拷問や指の切断など、イスラエル刑務所内の残酷な抑圧体制を語った。

10月15日 5:47 pm

*カン：カン・テレビ放送によると、この2日間イスラエル軍はガザのシェジャイヤ地区を攻撃した。これは、イスラエルの協力者一家を保護するための攻撃だという。カンは、イスラエル軍が撤退する前にこの一家を保護下においていたが、撤退後はそのままにしていたと報じた。

*米中央軍（CENTCOM）：米中央軍はハマスに対し、暴力行為をやめ、「罪のない民間人」への発砲をやめろと求めた。中央軍声明はハマスに「ハマス支配地域と、イエローラインの向こう側のイスラエルが警備する地域の両方で、暴力を停止せよ」と呼びかけ、現在を「平和への好機」だと言った。さらに中央軍は、ハマスはガザを撤退し、トランプ計画を遵守し、「遅滞なく」武器を放棄しなければならないと述べ、そうすれば「この地域が平和になる」と、楽観的未来を述べた。

10月15日 5:04 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル軍の攻撃で民間人が死亡しているので、ハマスは仲介者にイスラエルに対し停戦合意を守るようにしてくれと求めた。イスラエル政府は停戦を「武力で」強制すると警告した。

10月15日 5:00 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日、イスラエル占領軍がラマッラーとアル・ビレのいくつかの地区を襲撃する中で、パレスチナ人男性がイスラエル軍によって殴り殺された。男性はジェニン近郊のザバブデの町のサリーム・ラジ・アル・ファルと確認された。

10月15日 4:52 pm

*アル・ジャジーラ：ガザ市報道官は、イスラエルが意図的にガザ市の中央井戸56基を破壊し、市民が1日に必要とする飲み水の80%を超える不足を引き起こしたと言った。さらに彼は、イスラエル軍は市の上下水道システムをほぼ完全に破壊したと言った。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ抵抗勢力の幹部はアル・ジャジーラに対し、イスラエルが「イスラエル人ではない」と言っている遺体は、実際に抵抗勢力が作戦中に捕虜にしたイスラエル兵の遺体だと述べた。彼の説明によれば、2024年5月にジャバリヤ難民キャンプでアル・カッサム旅団が捕らえてトンネルへ運んだイスラエル兵の遺体である。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、赤十字がパレスチナ人囚人数十人の遺体を受け取ってガザへ運んでいると報じた。

*ガザ市民防衛団：ハーン・ユーニス南のキザン・アンナジャール地区でパレスチナ人2人の遺体を回収した。

*ガザ保健省：この24時間で死体25体と負傷者35人が病院へ搬送された。これで、2023年10月7日以降の犠牲者数は、死者67,938人、負傷者169,170人となった。

10月15日 2:12 pm

*ユニセフ：国連児童基金（ユニセフ）は、イスラエルのガザ回廊攻撃で、住宅の90%が損壊または全壊していると発表した。その前に、ガザ政府メディア・オフィスは、2年間の戦争で回廊全体の約90%が破壊されたと発表し、これを人命とインフラを標的にした「ジェノサイドの進行」と表現した。

*パレスチナ・メディア：バプティスト病院の報告によると、ガザ市東のシュジャイヤ地区へのイスラエルの空爆で、パレスチナ人2人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：医療筋がアル・ジャジーラに対して、昨日イスラエルが引き渡したパレスチナ人囚人の遺体の中には、目隠しをされ、両手を後ろ手に縛られたままのものもあったと語った。これは、野外処刑されたことを示唆している。また、戦車の鎖の跡が残っている遺体もあり、これは戦車に押し潰されて死亡したことを示唆している。

10月15日 11:49 am

*パレスチナ・クロニクル：ハマス系組織ラダー部隊は、ガザ地区の安定化に向けた新たな取り組みの中で、今回の作戦がイスラエル協力者と犯罪組織を標的としていると発表した。

10月15日 11:25 am

*アル・ジャジーラ：国連機関の監督下で、人道支援物資がデイル・アルバハ東部のキスフイム検問所と、ガザ地区南部のケレム・シャロム検問所を通じてガザ地区へ継続的に搬入されている。同地区の住民は、家屋の広範な破壊により深刻な食糧不足と住居不足に苦しんでいる。

10月15日 11:05 am

*アル・ジャジーラ：ハーン・ユーニス東のバニ・スハイラの町とシェイフ・ナセル地区で、イスラエル軍がパレスチナ人に向かって銃撃した。また、その前には、ガザ回廊の「イエローライン」を超えようとした不審者に「脅威を排除するために」発砲したと発表した。不審者は警告発砲にもかかわらずに接近したと軍は言った。

*チャンネル12：ネタニヤフ首相は自分の裁判中、メモを受け取った後、退廷した。法務大臣が、現職首相の訴追は「正義と国家の利益に反する」と主張して、ネタニヤフ首相の裁判を一時停止する法案を提起すると言った。

*イスラエル・メディア：イスラエル軍は、タミール・ナムルーディ兵士は開戦当時に捕らえられて殺害されたと考えており、その死因を現在調査中であると言った。人質家族会は、10月7日に基地から拉致され、捕らわれている間にイスラエル軍の空爆で死亡したと言った。

10月15日 10:25 am

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは政策転換と呼べる方針変更を行い、今日、ガザとエジプトの間のラファ・クロッシングを開き、飢餓に苦しむガザへの人道支援物資の大量輸送を可能にすると発表した。

10月15日 9:44am

*ガザの治安維持は「民族的合意」：パレスチナ抵抗勢力諸派は、ガザの治安維持は民族的課題で、万一息子が不法暴力分子に関与していたら、息子を引き渡すように家族に呼び掛けた。治安維持行動の目的は治安と秩序の回復と、イスラエルの指示で混乱を起こす「敵の傭兵と工作員」の追求で、これは部族・氏族評議会などパレスチナ人みんなから支持されていると説明した。

10月15日 9:37am

*人質の遺体：昨夜ハマスから引き渡された人質遺体4体のうち、3体の身元がイスラエル国立法医学研究所で確認された。死亡人質のタミール・ナムルーディとエイタン・レヴィの親族も遺体がイスラエルに返還されたと言った。

*イスラエル軍西岸地区攻撃：パレスチナ赤三日月社の報告によれば、エルサレム北のカランディア検問所付近で、パレスチナ人がイスラエル兵から頭部を殴打され、死亡した。イスラエル占領軍は、昨夜一晩、西岸地区の各地で大規模な襲撃と侵入を行った。襲撃されたのは、ラマッラー北部のジャラズーン難民キャンプとその他の町々、エルサレム北部のカフル・アカブ村、ベツレヘム、ヘブロンの一部である。占領軍はまた、釈放した囚人の家を襲い、家族に釈放を祝う催しを行うなど警告した。

10月15日 9:02am

*ニュースのまとめ

・ラファ・クロッシング再開：カンは、今日ラファ・クロッシングが再開され、600台のトラックがガザに入ると報じた。その報道によると、ハマスが昨晚4人の人質の遺体を返還したことを受けて、イスラエルがクロッシング再開と援助物資の搬入を認める決定をしたという。当初チャンネル13は、遺骨引き渡しは未完了であるため、クロッシング再開を見送り、援助物資を削減する決定なされたと報道していた。

・飢餓の危機の継続：ユーロ地中海人権モニターは、援助物資搬入の削減が続いているために、ガザから飢餓の危険は消えていないと警告した。イスラエルが「飢餓をジェノサイドの手段として利用する姿勢」があるからであると言った。さらにモニターは、現在ガザに入っている援助物資は、実際の住民のニーズとはほど遠い一部に過ぎないと述べ、イスラエルは人質の遺骨や遺体の手渡しの遅延を口実に封鎖を継続し、援助物資搬入を制限していると言った。

・イスラエル軍戦車がガザ市東部で砲撃：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍戦車がガザ市東部で砲撃したと報じた。

・釈放囚人が入院：捕虜交換合意で月曜日に釈放されたモハンメド・アサリヤ医師は、イスラエル刑務所で受けた拷問のために激しい発作と心臓の痛みで苦しみ、ガザ市のアッシーファ病院へ移送された。

・アル・アクサ洪水で勝ち取った囚人釈放の総数：この度の捕虜交換合意で釈放された囚人を加え、アル・アクサ洪水作戦開始後、パレスチナ抵抗勢力がイスラエル刑務所からの解放を勝ち取った囚人数は、推定合計約4,000人になる。

・ハーン・ユニスで2人負傷：ハーン・ユニスでイスラエル軍の砲撃で2人が負傷した。

・ジャバリヤ東部の衝突：ジャバリヤ東部で内務省治安部隊とイスラエル協力者武装民兵の間で激しい衝突があったと報じられている。

10月14日 11:25pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・カッサム旅団は、イスラエル人質を保護して、捕虜交換に寄与したとして、秘密組織「影の部隊」に敬意を表した。この舞台が表に出たのは異例で、イスラエル国内で議論を巻き起こした。

10月14日 11:12pm

*パレスチナ・クロニクル：アマゾン社は、同社のイスラエル政府とイスラエル軍との12億ドルのプロジェクト・ニンバス契約に抗議したパレスチナ人ソフトウェア技師を先月停職処分にしてしたが、改めて解雇した。

10月14日 11:09pm

*パレスチナ・クロニクル：米国の左翼ニュースサイト『グレーズーン』が、テルアビブにある極秘の地下情報基地の位置を特定した。この基地は、今年6月にイランの弾道ミサイル攻撃を受けたようである。

10月14日 11:04 pm

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラの特派員は、赤十字社の車両がガザ市でイスラエル人質の遺体を引き取ったと報じた。

*アル・ジャジーラ：ガザの部族・氏族評議会は、戦争中の治安の不在につけ込んだ反乱分子の無法行為と暴力を強く拒否すると発表した。評議会は秩序回復と混乱の終結を図る治安部隊の活動を全面的に支持すると言った。

10月14日 9:40 pm

*米国メディア：トランプ大統領は、中東でこんなに平和への望みが高まっているのは今まで見たことがないと言った。さらに、ハマスと会談したとき、ハマスは武器を放棄すると言ったと付言し、「もし武装解除しなければ、我々米国が対処する」とハマスに伝えたと言った。また、ハマスはいくつかの暴力グループ²を排除したが、「私は気にしていない」と言った。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は、死亡した人質の遺体が数時間以内に引き渡されるという報告を受けたと述べた。

*チャンネル12：法医学研究所はさらなる遺体を受け入れて検査する準備をしている。遺体は今夜中に研究所に運び込まれる。

*米国メディア：トランプ大統領は、今からガザ合意の第二段階が始まると言った。彼は、生存人質の返還はすべて終了したが、それで任務が終わったわけではなく、死亡した人質の遺体も返還されなければならないと言った。

10月14日 7:36 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは、ハマスが合意通りに残りの人質の遺体を返還していないとして、ラファ・クロッシングの再開と人道支援物資のガザ搬入許可を見送ると決めた。

訳注2：イスラエルに協力する武装民兵。